

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。
警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
 この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



主な特長

- 本機はソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクプレーヤーです。
- 新開発ヘッド・ローディングメカ採用の小型ミニディスクプレーヤーミニディスクの出し入れが小さい力で簡単にできます。
- 置くだけ簡単充電の折り畳み式充電スタンド
置くだけで自動的に充電が始まる、簡単・便利な折り畳み式充電スタンドです。本体をスタンドに固定し、別売りのカーバッテリーコードを接続することで車内でも電池持続時間を気にせず利用できます。
- 車で便利な本体液晶
曲番液晶を本体にも搭載することにより、車内で利用するときなどリモコンの液晶を見ることできないときでも曲番を確認することができます。*
- お好みの音でお楽しみいただける「デジタルサウンドプリセット」機能
再生しながらお好みの音質を2種類設定することができます。
- ジャケットイメージサイズの小型ミニディスクプレーヤー
- 電池持続時間の長時間化を実現した省電力設計
- 簡単操作を実現した光る液晶リモコン付きヘッドホン「スマート・スティック・コントローラー」
- 約40秒の音飛びガードメモリー搭載
- 運転中は操作しないでください。

保証書とアフターサービス

- 保証書**
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
 - 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- アフターサービス**
- 調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
 - それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
 - 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
 - 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
 - 部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご案内
 ソニーではMZ-E800のお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
 お使いになって不明な点や技術的な相談は下記までお問い合わせください。
 テクニカルインフォメーションセンター
 電話: 048-794-5194
 受付時間: 月～金曜日 午前9時～午後5時(ただし、祝日、年末、年始、弊社休日を除く)
 受付期間: お買い上げ日より1年間

ご相談になるときは次のことをお知らせください
 型名: MZ-E800
 故障の状態: できるだけ詳しく
 お買い上げ年月日

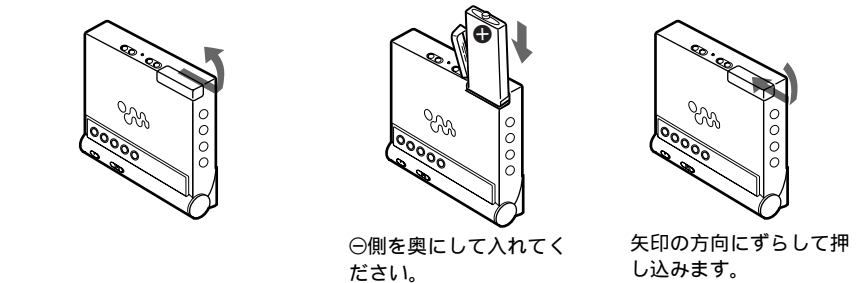
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	受付時間: 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	
●ナビダイヤル 0570-00-3311	
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
●携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311	
●Fax 0466-31-2595	

この説明書は再生紙を使用しています。

準備する A

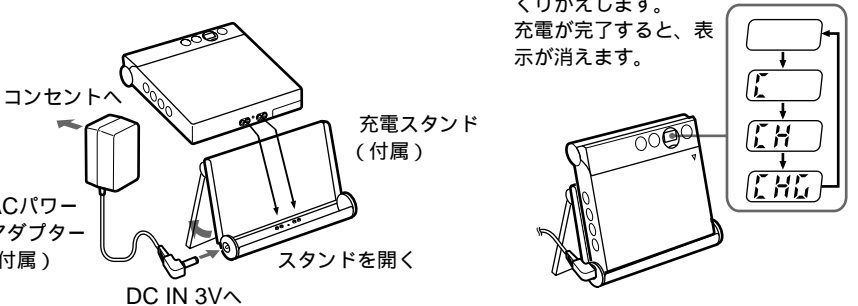
充電式電池は、お使いになる前に必ず充電してください。家庭用電源(コンセント)で使うには、「コンセントにつないで使う」をご覧ください。

1 充電式電池を入れる



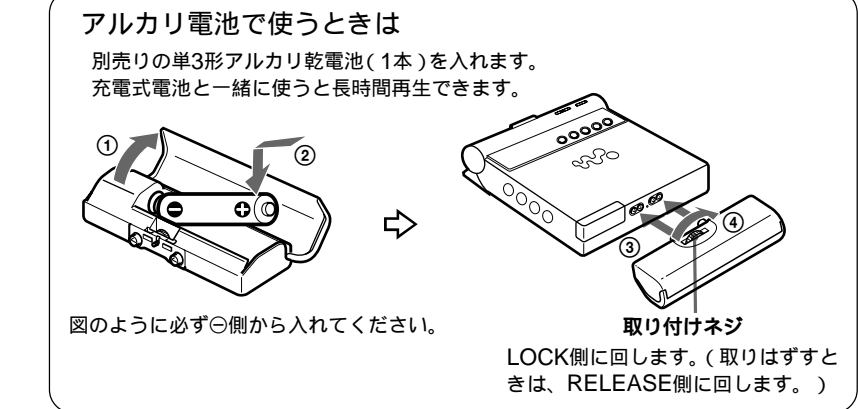
2 充電する

付属のACパワーアダプターを下図のようにつなぎ、本体を充電スタンドに置く。

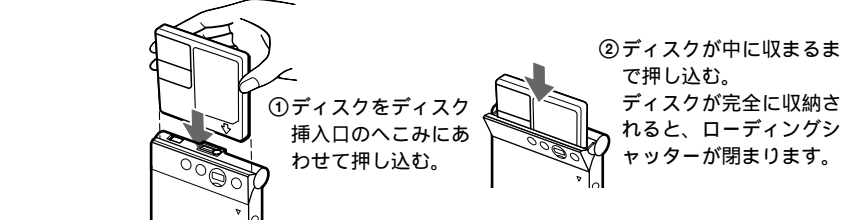


本機に充電式電池を入れた後、付属の充電スタンドに置くだけで簡単に充電することができます。本体の液晶窓に右上のイラストで示した順に表示点灯をくりかえし、充電が始まります。約3時間で表示が消え、充電が完了します。(充電完了後、表示が消えた状態でさらに約2時間充電し続けながらお使いになると、電池の特性を最大限に生かすことができます。) 充電式電池は約300回充電できます。

- ご注意
- を押して、再生を止めてから充電してください。再生中は充電できません。充電中に再生ボタンを押すと、再生が始まり、充電は止まります。
 - 充電中、リモコンの表示窓では「Charging」表示が点滅し、電池マークが → → → → → の順に表示します。
 - 充電スタンドご使用時、カチッという音(回路の動作音)がすることがありますが故障ではありません。



3 ミニディスクを入れる



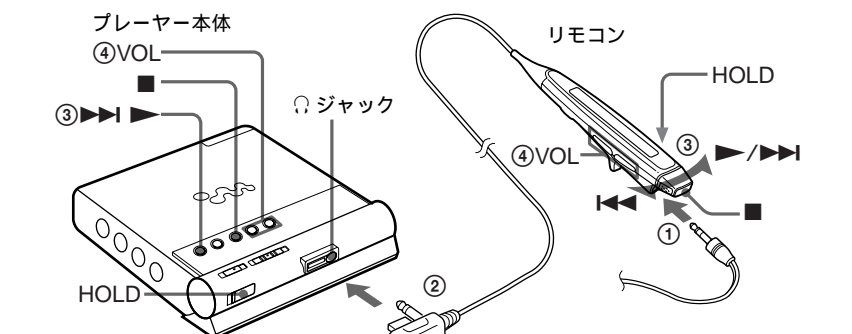
ディスクを取り出すには
 ■を押して再生を止めてから、本体のローディングシャッターを手前にならずディスクを取り出せます。

ミニディスクを聞く B

音源がモノラルの場合は、音声自動的にモノラルに切り換わります。

1 再生する

ミニディスクを操作する前に、HOLDスイッチが解除されているのを確認してください。くわしくは、「誤操作を防ぐ」をご覧ください。



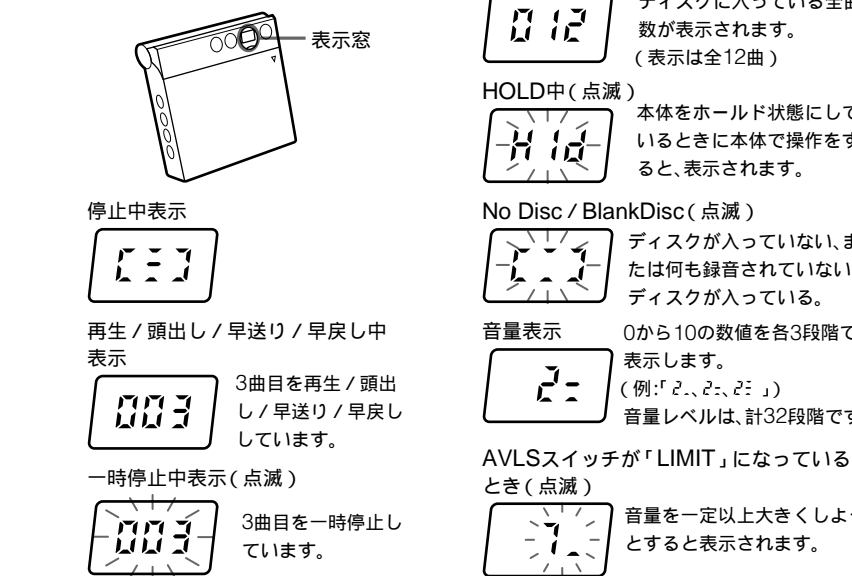
- リモコンにヘッドホンをつなぐ。最後までしっかりさしこみます。
- リモコン付きヘッドホン(付属)を①ジャックへつなぐ。
- ▶▶▶を押す。(リモコンではつまみを▶▶▶側)に押す。) ディスクの最初から再生が始まります。本体の表示窓にトラック番号「1」が表示されます。リモコンで操作すると「ピ」と確認音があります。
- VOL +/- で音量を調節する。本体またはリモコンの表示窓で音量を確認できます。音量調節を行うと、本体の表示窓に0から10の音量レベルが、リモコンの表示窓に音量レベルバーが表示されます。

再生を止めるには、■を押す。本体の表示窓に停止中表示がでます。下記「本体の表示窓の見方」もあわせてご覧ください。リモコンで操作すると「ピー」と確認音があります。リモコンの表示は、■を押してから一定時間後に消えます。表示窓の見かたについてくわしくは、「曲名や曲の時間を見る」をご覧ください。

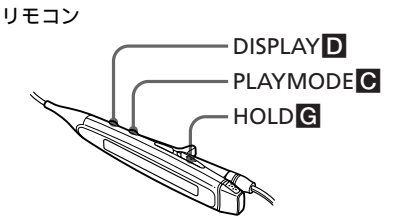
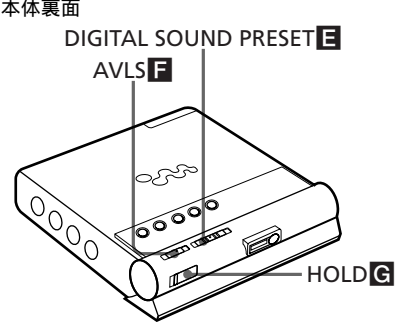
こんなときは	操作(リモコンの確認音)
一時停止する	リモコンの を押す(ピ・ピ・ピ・・・) もう一度押すと解除されます*1)
今聞いている曲を頭出しする	◀◀を押す リモコンではつまみを◀◀側に押す(ビビビ)
前の曲を頭出しする	◀◀を繰り返し押す。リモコンではつまみを◀◀側に繰り返し押す(ビビビ・ビビビ)
次の曲を頭出しする	▶▶▶を押す。リモコンではつまみを▶▶▶側に押す(ビビ)
再生しながら早戻しする*1)	◀◀を押したままにする。リモコンではつまみを◀◀側に押したままにする
再生しながら早送りする*1)	▶▶▶を押したままにする。リモコンではつまみを▶▶▶側に押したままにする
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のローディングシャッターをはずす*2)

- *1)一時停止(||)して本体の◀◀または▶▶▶を押すと、再生に戻ります。一時停止して本体の◀◀または▶▶▶を押したままにする(リモコンでは、つまみを◀◀または▶▶▶側に押したままにする)と、再生音を聞かずに高速で早戻しや早送りができます。
 *2)ローディングシャッターを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。
- ご注意
 再生中にローディングシャッターを開けないでください。シャッターが開くと、ディスクの演奏が中断されます。

本体の表示窓の見方

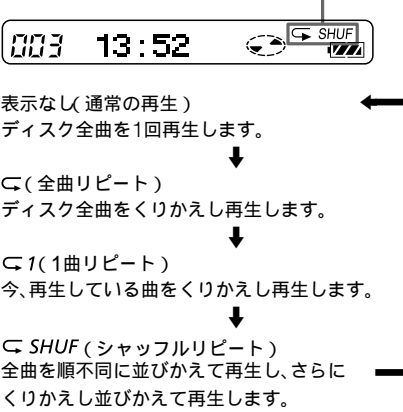


▶いろいろな聞きかた



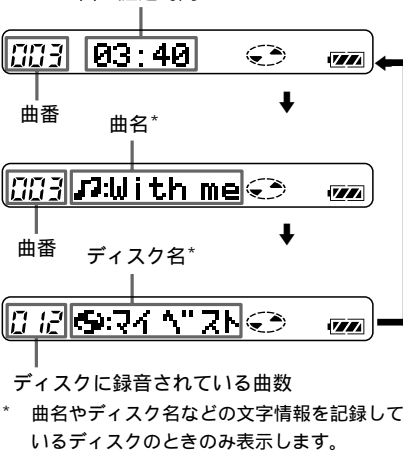
くりかえし聞く C

(リピート再生)
 ディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの設定があります。再生中にリモコンのPLAYMODEボタンを押す。押すたびに次のように変わります。



曲名や曲の時間を見る D

再生中に、曲名やディスク名、曲番、曲の経過時間、録音されている曲数を確認できます。再生中にリモコンのDISPLAYボタンを押す。押すたびに表示は以下のように切り換わります。



ディスクに録音されている曲数
 * 曲名やディスク名などの文字情報を記録しているディスクのときののみ表示します。

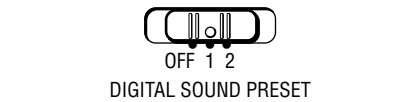
AVLSスイッチを「LIMIT」にする。
 音量を調節しても、一定のレベル以上大きくなりません。「ミニディスクを聞く」の「本体の表示窓の見方」もあわせてご覧ください。

AVLSを解除するには
 AVLSスイッチを「NORM」にする。

音質を設定する(デジタルサウンドプリセット) E

再生中にミニディスクを聞きながら、お好みの音を設定することができます。2種類設定することができます。

- 本体のDIGITAL SOUND PRESETスイッチを「1」または「2」にする。



2 再生中、下図の画面がリモコンに表示されるまで、リモコンのDISPLAYまたはPLAYMODEボタンを押したままにする。

DISPLAYボタンでBASS(低音)、PLAYMODEボタンでTREBLE(高音)の設定画面になります。BASSのときは「B」、TREBLEのときは「T」と表示されます。

- リモコン先端のつまみを▶▶▶または◀◀◀側にくり返し押し、BASSまたはTREBLEの強弱を設定する。

例) BASSのとき
 カソールが動きます。(- 2の位置)

BASS設定画面でPLAYMODEボタンを、TREBLE設定画面でDISPLAYボタンを押したままにすると、BASSからTREBLEまたはTREBLEからBASSへと設定を続けることができます。

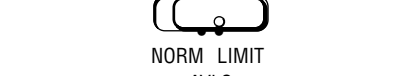
- リモコンのDISPLAYまたはPLAYMODEボタンを押す。設定が登録され、再生表示に戻ります。一定時間設定の操作をしないと再生表示に戻り、設定は登録されます。

お買い上げ時の設定はDIGITAL SOUND PRESETスイッチが「1」のとき
 BASS: +1, TREBLE: ±0
 「2」のとき
 BASS: +3, TREBLE: ±0

ご注意
 ・再生中であれば、一時停止||中でも設定することができます。
 ・本体の操作ボタンでは、設定できません。
 ・DIGITAL SOUND PRESETスイッチが「OFF」のときは、設定できません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする(AVLS) F

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことでの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



AVLSスイッチを「LIMIT」にする。
 音量を調節しても、一定のレベル以上大きくなりません。「ミニディスクを聞く」の「本体の表示窓の見方」もあわせてご覧ください。

AVLSを解除するには
 AVLSスイッチを「NORM」にする。

誤操作を防ぐ(ホールド機能) G

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されてしまうことを防ぎます。HOLDスイッチをずらす。

本体のHOLDスイッチを◀の方向にずらすと本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチを▶の方向にずらすとリモコンの操作ボタンが、それぞれ動かなくなります。

▶電源について

充電式電池・乾電池の取り換え時期は H

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示でお知らせします。
 リモコンの表示窓
 ↓ 残量が少なくなっています。
 ↓ 電池が消耗しています。
 ↓ 残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

充電式電池・乾電池の持続時間は	再生時
使用電池	
充電式ニッケル水素電池 (NH-14WM)	約24時間*
ソーニールカリ乾電池** 1本	約37時間
ソーニールカリ乾電池** 1本と充電式ニッケル水素電池 (NH-14WM) の併用	約64時間

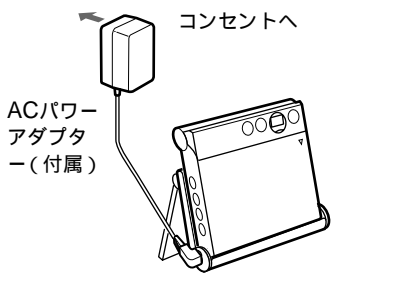
* 充電式電池は、100%充電したときの時間です。
 ** 日本製ソーニールカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意
 電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う I

ACパワーアダプターをコンセントにつなげば充電電池が入っていないでも使えます。

- ACパワーアダプター(付属)を充電スタンド(付属)のDC IN 3Vにつなぐ
- 本体を充電スタンドに置く。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

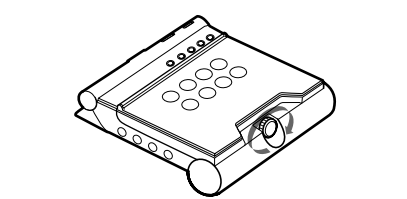


ご注意
 ・本体を充電スタンドにきちんと合わせて置いてください。合っていないと充電または再生できません。
 ・充電する場合は「準備する」をご覧ください。

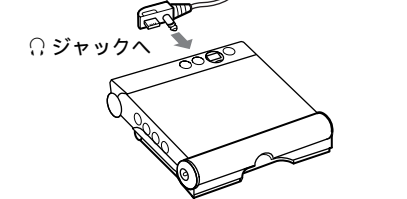
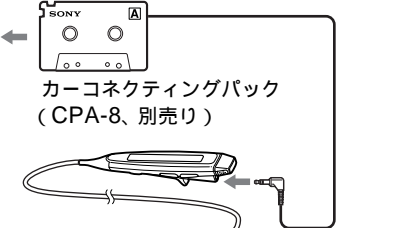
車の中で聞く J

カーコネクティングバック(別売り)とカーバッテリーコード(別売り)をつなげば、車内で使用できます。充電電池が入っていないでも使えます。

- 本体を充電スタンドに固定する。本体の充電スタンド用端子と、充電スタンドの充電用端子をしっかり合わせ、充電スタンドの取り付けネジを回して固定します。

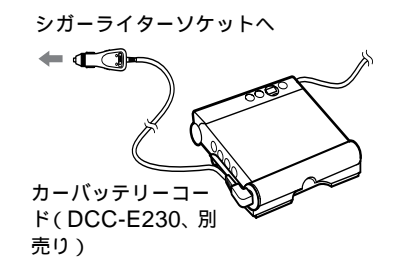


- カーコネクティングバックとリモコンを下図のようにつなぐ。カーカセットデッキへ



- カーバッテリーコードを充電スタンド(付属)のDC IN 3Vにつなぐ。

- カーバッテリーコードをシガーライターソケットにつなぐ。



ロータリーコマンダー(RM-WMC1、別売り)をつなぐには
 カーコネクティングバックをロータリーコマンダーに、ロータリーコマンダーを本体の①ジャックにつなぎます。

- ご注意
- 本体および充電スタンドを車内に放置しないでください。
 - カーバッテリーコードをつないだまま放置しないでください。
 - 運転中はヘッドホンを使用しないでください。

▶その他

使用上のご注意

安全のために

△危険

- 本体の充電用端子、充電スタンドの端子、乾電池ケースの取り付け端子が金属でつながるとショートし、発熱する事があります。付属のキャリングポーチに入れてください。
- 本機の充電用端子や乾電池ケース取り付け部の端子に金属などがふれると、ショートし、発熱することがあり危険です。バッグなどに入れて持ち運ぶときは、乾電池ケースを本体に取り付けて、付属のキャリングポーチに入れてください。

